



## ロータリー財団グローバル補助金事業計画書

国際ロータリー第2790地区  
プロジェクト開発小委員会（地区DDF申請書添付資料）

2014-15年度以降実施プロジェクト用

### 申請者

ロータリークラブ名	ロータリークラブ
プロジェクト名	
実施場所	
実施期間（西暦）	20 年 月 日 ~ 20 年 月 日

### I 最初のステップ

#### 1. グローバル補助金の活動名

#### 2. 代表連絡担当者

氏 名	ク ラ ブ	役 割	実施国/援助国 提唱者
		代表連絡担当者	実施国側
		代表連絡担当者	援助国側

#### 3. 補助金委員会委員

氏 名	ク ラ ブ	役 割
		実施国側連絡担当者
		実施国側連絡担当者

氏 名	ク ラ ブ	役 割
		援助国側連絡担当者
		援助国側連絡担当者

### II 目的

- このグローバル補助金活動の目的について、短い2、3文でご説明ください。
- このグローバル補助金によって誰が恩恵を受けますか。直接受益者の推定数も入力してください。
- このグローバル補助金は、以下のどの活動を支援するものですか(該当するものすべてを選択してください)。  
人道的プロジェクト
- このプロジェクトはどこで実施されますか。  
地域社会(コミュニティ)  
市町村  
国

5 このプロジェクトはいつ実施される予定ですか。

開始日

終了日

プロジェクト実施のスケジュールを大まかに入力してください。

番 号	評 価 基 準	測 定 方 法

### III 持続可能性

1 このプロジェクトは地域社会のどのようなニーズに取り組みますか。また、そのニーズはどのようにして特定されたものですか。関連するデータまたは調査結果も併せてご記入ください。

2 このプロジェクトは、それらの地域社会のニーズにどのようにして取り組みますか。詳細にご説明ください。

3 地域社会の人々は、このプロジェクトの計画にどのようにかかわりましたか。このプロジェクトは、現在行われている地元の取り組みと一致したものですか。

4 このグローバル補助金で行われる研修、地域社会の啓蒙活動、教育プログラムについてご説明ください(該当する場合)。これらは誰が実施しますか。研修、啓蒙・教育プログラムの参加者はどのように選ばれましたか。

### IV 重点分野

1 重点分野(該当するもの全てを選択してください)

2 どの目標を支援するものですか。

3 これらの目標をどのように満たしますか。

4 活動の成果をどのように測りますか。

留意事項：グローバル補助金提唱者は、最終報告書で直接受益者の合計数を報告するよう求められます。

番 号	評 価 基 準	測 定 方 法	測 定 頻 度	目 標

5 モニタリングと評価のための情報の収集は、誰が担当しますか。

### V 参加者

1 代表連絡担当者 ⇒ 最初のステップの通り

2 委員会委員 ⇒ 最初のステップの通り

3 プロジェクトから利益を得る可能性のあるロータリアン(例えば、ロータリアンが協力団体の職員や役員、物資を購入する店や事業の経営者、奨学生が通う大学の理事である場合など)は、委員となることができません。こうした利害の対立の可能性はすべて、ここで開示してください。

#### 4 協力団体

協力団体は、専門知識、インフラストラクチャー、アドボカシー活動、研修、教育、その他の補助金プログラムへの支援を提供する、ロータリアン以外の定評ある組織または教育機関を指します。

このプロジェクトに参加している協力団体を入力してください。

番 号	名 称	ウェブサイト	番地	市町村	国

#### 5 代表提唱者と協力団体の間で交わされた「覚書(「MOU」)」をPDF形式でアップロードしてください。

番 号	フ ァ イ ル 名	サ イ ズ	日 付

#### 6 この団体を選んだ際のプロセスをご説明ください。この団体が持つどのようなリソースや専門知識が役立ちますか。

#### 7 その他の協力者

そのほかに、このプロジェクトに参加する協力者とその責務を入力してください。これには、(代表提唱者以外の)ロータリー・クラブ、ローターアクト・クラブ、ロータリー地域社会共同体(RCC)、ならびに個人が含まれます。

#### 8 旅行するボランティア

人道的プロジェクトの一環として、ボランティアの海外渡航が最高2名まで認められています。これらの人は、研修を提供する目的、またはプロジェクトを実施する目的で渡航するものであり、その人の持つスキルが現地では得られないことを実施国側提唱者が確認することが条件となります。

このグローバル補助金で海外渡航するロータリアンまたはロータリアン以外の参加者を入力してください。

氏 名	Eメール

旅行するボランティアが担当する責務、および各人が現地で実行する具体的な任務をご説明下さい。

旅行するボランティアの捕捉書類をアップロード

旅行するボランティア：実施国側提唱者の承認

#### 9 ロータリアンの参加

この活動で実施国側のロータリアンが担う役割と責務を説明してください。

この活動で援助国側のロータリアンが担う役割と責務を説明してください。

#### 10 持続可能性

このプロジェクトの実施において地元地域社会の人々が担う役割を説明してください。地元の人々の参加を促すために、どのような奨励（インセンティブ）方法を用いますか(例：報酬、賞の授与、修了証、助成など)。

地元地域社会において、成果のモニタリングと活動の継続の監督を誰が担当することになりますか。また、この人物がリーダーの役割を遂行できるようにどのような支援を提供しますか。

#### VI 予算

予算で用いる現地通貨を選択し、1米ドルあたりの為替レート(現在のレート)を入力してください。現在のR I 為替レートはロータリーのウェブサイトでご確認いただけます。R I 公式為替レートに記載されていない通貨については、OandaまたはBloombergのウェブサイトでご為替レートを調べてください。

予算を追加して、活動経費の詳細を入力してください。予算総額は、調達資金の総額と一致していなければならないことにご留意ください。

現地通貨：USD為替レート(1米ドルあたり)：

番号	内容	業者	カテゴリー	費用(現地通貨)	費用(米ドル)
予算の総額：					

予算を裏付ける書類

持続可能性

予算に含まれている物品やサービスを選んだプロセスについてご説明ください。現地の業者から見積もりを取りよせ、入札プロセスを行いましたか。これらの予算品目は、現地の文化やテクノロジーの水準に見合っていますか。

受益者は、これらの品目をどのように維持・管理しますか。(該当する場合)交換部品やスペアが現地で入手可能である事、および機材を使用するスキルが受益者に備わっていることを以下にご記入ください。

補助金で購入した品(機材、財産、資料など)は、プロジェクト後に誰が所有することになりますか。これらの品はロータリー・クラブまたはロータリアンが所有出来ないことにご留意ください。

#### VII 調達資金

グローバル補助金は、国際財団活動資金(WF)によって財団から配分されるもので、支給幅は15,000~20万米ドルとなります。財団は、現金拠出に対しては50パーセント(半額)、地区財団活動資金(DDF)の寄贈に対しては100パーセント(同額)を上乗せして支給します。補助金に対するロータリアン以外からの寄付にも

50パーセントの上乗せ資金が提供されます、ただし、この寄付はプロジェクトの協力団体や受益者の協力団体や受益者以外から寄せられたものであることが条件です。

この補助金プログラムへのWF上乗せ額を計算するには、すべての調達資金を入力し、それらが現金、DDF、その他のいずれであるかを選択してください。調達資金の合計額は、活動予算と一致していなければなりません。

調達資金とWF申請額を入力した後、「保存」をクリックして必ず情報を保存してください。

番 号	調 達 資 金	組 織	金 額
		DDFの寄贈：	
		現金拠出：	
		その他の資金：	
		冠名基金/冠名指定寄付：	
		WF上乗せ(最高額)：	
		WF上乗せ(申請額)：	
		調達資金の合計：	
		予算の総額：	

#### VIII 持続可能性

プロジェクトで長期的な成果をもたらせるよう、地元に財源があることを確認しましたか。または、継続的に資金を確保する方法を計画していますか。

\_\_\_\_\_ ロータリー・クラブ会長及び会長エレクトとして、上記の通りグローバル補助金事業を計画しましたので、計画書を提出します。

クラブ会長	
就任年度	2015-16年度
氏 名	
署 名	
日 付	

会長エレクト	
就任年度	2015-16年度
氏 名	
署 名	
日 付	

国際ロータリー第2790地区 ロータリー財団委員会  
プロジェクト開発小委員長 平野 弘和 様